

天心記念五浦美術館

平成4年 (1992)	1月17日	県北市議会議長の陳情
平成5年 (1993)	1月27日	五浦記念美術館(仮称)建設用地選定
平成6年 (1994)	1月10日	環境事前総合調査を開始
	1月31日	五浦記念美術館(仮称)建設基本構想策定懇談会(委員長 平山郁夫東京藝術大学学長)を設置
	8月26日	計画用地取得完了
	11月22日	建設基本設計を発注(内藤廣建築設計事務所)
平成7年 (1995)	4月1日	「五浦美術館建設準備室」を教育庁文化課内に設置
	5月29日	建物・外構実施設計を発注(内藤廣建築設計事務所)
	5月29日	再興院展に天心記念茨城賞の創設
	9月1日	第1回天心記念茨城賞の選考
	9月22日	建築・機械設備工事発注
	9月27日	電気設備工事発注
	11月7日	茨城県天心記念五浦美術館(仮称)工事起工式
平成8年 (1996)	6月18日	屋外整備着手
	9月1日	第2回天心記念茨城賞の選考
平成9年 (1997)	3月15日	茨城県天心記念五浦美術館(仮称)竣工
	4月1日	茨城県天心記念五浦美術館発足(規則上の位置付け 茨城県近代美術館天心記念五浦分館) 県庁第3附属庁舎を事務所とする(5月30日まで)
	6月1日	現地に事務所移転
	8月4日	ハイビジョン始動式
	9月1日	第3回天心記念茨城賞の選考
	10月20日	屋外整備工事完了
	11月7日	開館記念式典
	11月8日	茨城県天心記念五浦美術館開館 開館記念展「天心と五浦の作家たち」(12月14日まで)
	12月14日	入館者10万人達成(開館から33日目)
平成10年 (1998)	3月7日	「近代日本画に見る美人画名作展」(4月5日まで)
	4月25日	「平山郁夫 わが心の風景 ー日本の道を描くー」(5月31日まで)
	7月25日	「和紙 WAGAMI わがみ展」(8月30日まで)
	10月10日	開館1周年記念展「インドに魅せられた日本画家たち ー天心とタゴールの出会いからー」 (11月23日まで)
平成11年 (1999)	3月11日	「再興第83回院展 茨城五浦展」(3月28日まで)
	4月24日	「京都の日本画 ー京都画壇の俊英たちー」(5月30日まで)
	4月24日	入館者50万人達成(開館から446日目)
	7月17日	「六大浮世絵師名品展 ー春信・清長・歌麿・写楽・北斎・広重ー」(8月22日まで)
	10月9日	「横山大観 ー海・山を描くー」(11月14日まで)
平成12年 (2000)	1月22日	「平成11年度国立博物館・美術館巡回展『風景表現の展開』ー再発見 風景へのまなざしー」(2月20日まで)
	4月22日	「大正ロマンの抒情画家 竹久夢二の世界」(6月4日まで)
	7月1日	「京都市立芸術大学創立120周年記念展 ー伝統と創造 京都の作家たちー」(8月20日まで)
	10月7日	開館3周年記念展「日本絵画の精華 ー狩野派、琳派から大観までー」(11月19日まで)
平成13年 (2001)	1月2日	「目黒雅叙園美術館コレクション 雪月花 ー近代日本画に描かれた美ー」(2月12日まで)
	3月10日	「再興第85回院展 茨城五浦展」(3月28日まで)
	4月7日	「画業60年 村山密展 ーセーヌの岸辺からー」(5月27日まで)
	4月22日	入館者100万人達成(開館から1,054日目)
	7月20日	「織 ー絹の美と技ー」(8月26日まで)
	10月20日	「大観・春草展 ー日本画近代化への道ー」(11月25日まで)

平成14年 (2002)	1月2日	「名都美術館コレクション 巨匠たちが描く日本の美」(2月17日まで)
	4月20日	「田園詩人ー野口雨情生誕120年記念 描かれた雨情の詩心」(6月2日まで)
	7月13日	「日本画40年展 1959ー1999 ー文化庁買上優秀美術作品ー」(8月25日まで)
	10月5日	「開館5周年記念ー山種美術館コレクション 再興日本美術院の画家たち」(11月17日まで)
平成15年 (2003)	1月2日	「華麗なる変貌 堂本印象の世界」(2月16日まで)
	3月13日	「再興第87回院展 茨城五浦展」(3月30日まで)
	4月26日	「いわさきちひろ展」(6月1日まで)
	7月19日	「秋野不矩展 ー創造の軌跡ー」(8月31日まで)
	9月20日	入館者150万人達成(開館から1,783日目)
平成16年 (2004)	10月25日	「岡倉天心来五浦100年 下村観山・木村武山展 ー新しい日本画の創造をめざしてー」(11月30日まで)
	1月2日	「三代に受け継がれる美の系譜 上村松園・松篁・淳之展」(2月15日まで)
	4月17日	「箱根・芦ノ湖 成川美術館所蔵 現代日本画への誘い」(6月13日まで)
	7月17日	「富山県水墨美術館所蔵 近代の水墨画ー墨色の魅力」(8月2日まで)
平成17年 (2005)	10月16日	「京都国立近代美術館所蔵 京都日本画の精華」(11月28日まで)
	1月2日	「足立美術館名品選 横山大観と近代日本画の巨匠たち」(2月17日まで)
	2月24日	「再興第89回院展 茨城五浦展」(3月13日まで)
	4月29日	「花めぐり ー日本画にみる花ー」(6月5日まで)
平成18年 (2006)	7月16日	「日本芸術院所蔵 芸術院の日本画」(9月4日まで)
	10月8日	「天心記念茨城賞の画家たち」(11月27日まで)
	1月2日	「生誕120年 川端龍子展」(2月19日まで)
	4月28日	「伊東深水展」(6月4日まで)
	7月22日	「広重と北斎の東海道五十三次と浮世絵名品展 歌麿・写楽から幕末バラエティーまで」(8月27日まで)
平成19年 (2007)	9月10日	入館者200万人達成(開館から2,713日目)
	10月21日	「日本美術院五浦移転100年 天心と日本美術院の俊英たち」(11月26日まで)
	1月2日	「春を告げる花ー椿絵名作展」(2月12日まで)
	3月8日	「再興第91回院展 茨城五浦展」(3月25日まで)
	4月28日	「小倉遊亀展」(6月3日まで)
	7月28日	「千總コレクション 京の優雅ー小袖と屏風ー」(9月2日まで)
平成20年 (2008)	10月27日	「開館10周年記念 大倉集古館の名宝」(12月9日まで)
	1月2日	「創画会60年展 ー創造美術からの流れー」(2月11日まで)
	4月19日	「近代日本画にみる麗しき女性たちー松園と美人画の世界ー」(5月25日まで)
	7月19日	「ごんぎつねと黒井健の世界」(8月31日まで)
	11月1日	「第23回国民文化祭いばらき2008美術展(日本画)」(11月9日まで)
平成21年 (2009)	11月22日	「那波多目功ー牡丹幻想 ー花のいのちに魅せられてー」(平成21年1月18日まで)
	3月12日	「再興第93回院展 茨城五浦展」(3月29日まで)
	4月25日	「万葉集1250年記念 万葉のころを描く」(6月7日まで)
	7月11日	「大正ロマン・昭和モダン 大衆芸術の時代展ー竹久夢二から中原淳一まで」(6月30日まで)
	10月17日	「日本画にみる世界遺産の旅」(11月23日まで)
平成22年 (2010)	10月24日	入館者250万人達成(開館から3,685日目)
	1月2日	「土とともに、水とともに 田園画人 小林巢居人の世界」(2月14日まで)
	4月24日	「生誕110周年記念 山本丘人展ー魂の抒情詩」(5月30日まで)
	7月10日	「いのちのかがやきー花鳥画の現在」(8月29日まで)
平成23年 (2011)	10月16日	「没後30年 堅山南風展」(11月28日まで)
	3月10日	「再興第95回院展 茨城五浦展」(※東日本大震災のため3月11日で中止)
	3月11日	東日本大震災により被災、翌日より休館(10月31日まで)
平成24年 (2012)	11月1日	「没後70年 木村武山の芸術」(12月4日まで)
	1月2日	「遠き道展ー伝統からの飛翔 日本画のゆくえ」(2月26日まで)
	3月2日	特別展示「甦る五浦 ー受け継がれし天心のころー」(4月8日まで)
	4月14日	「花鳥風月ー四季によせる想い」(5月27日まで)
	8月18日	震災復興支援展覧会「生誕110周年記念 ウォルト・ディズニー展」(10月8日まで)
	10月13日	「生誕110年記念 上村松篁展」(11月25日まで)
	12月1日	「茨城県近代美術館コレクション 再興院展 時代を拓く作家たち」(平成25年1月14日まで)

平成25年 (2013)	3月8日	「再興第97回院展 茨城五浦展」(4月7日まで)
	4月13日	「寺田コレクション わが心の山河ーあなたに見せたい風景」(6月9日まで)
	10月12日	＜震災復興祈念＞天心・波山記念事業「岡倉天心生誕150年・没後100年記念 岡倉天心と文化財ーまもり、つたえる、日本の美術」(11月24日まで)
平成26年 (2014)	1月2日	「花が咲き、鳥は遊ぶー日立市郷土博物館コレクションを中心に」(2月23日まで)
	3月1日	「生誕100年 佐藤太清展」(4月13日まで)
	4月19日	「郷さくら美術館名作選 出かけよう、日本画世界紀行」(6月8日まで)
	7月20日	入館者300万人達成(開館から4,961日目)
	8月2日	「水のシンフォニー 形なき水に形を、色なき水に色を。」(9月28日まで)
平成27年 (2015)	10月4日	「寺田コレクション 自然と生命への讃歌」(11月30日まで)
	2月28日	「再興第99回院展 茨城五浦展」(3月29日まで)
	4月8日	「歌麿とその時代ー黄金期の浮世絵」(5月31日まで)
	7月18日	「異界へのいざないー妖怪大集合」(8月30日まで)
	9月4日	「東西のバルビゾン コロー、ミレー、大観、春草」(10月18日まで)
平成28年 (2016)	10月24日	「没後70年飛田周山展ー五浦で学んだ画家たち」(12月13日まで)
	2月20日	「郷さくら美術館名作選 受け継がれる日本のこころ」(4月17日まで)
	4月23日	「箱根・芦ノ湖 成川美術館所蔵 平松礼二展ー響きあう光と色彩」(6月12日まで)
	6月17日	「寺田コレクション受贈記念 平成の日本画ー時代を拓く画家たち」(7月18日まで)
	7月23日	「佐久市立近代美術館の名作 日本画、新しき風にのせて」(9月4日まで)
平成29年 (2017)	9月17日	KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭特別展示 「チームラボ 小さき無限に咲く花の、かそけきを思うなりけり」(11月20日まで)
	11月29日	「招福 吉祥のかたち」(平成29年1月15日まで)
	1月19日	「国際交流基金所蔵 海を渡った日本の名品」(2月19日まで)
	2月25日	「再興第101回院展 茨城五浦展」(3月30日まで)
	4月8日	「興福寺中金堂再建・法相柱柱絵完成記念 興福寺の寺宝と畠中光享展」(5月14日まで)
	5月19日	「現代日本画の精鋭展」(7月9日まで)
	7月15日	「三百六十度の世界 松本哲男展」(8月27日まで)
平成30年 (2018)	9月1日	「ひとのかたちー人物表現を味わうー」(10月15日まで)
	10月25日	開館20周年記念「龍を描くー天地の気」(11月26日まで)
	12月2日	「文化庁新進芸術家海外研修制度50周年記念展 美術部門ー洋画・日本画・版画」(平成30年2月4日まで)
	2月9日	「秘蔵の木村武山展」(4月22日まで)
	4月28日	熊本県立美術館所蔵「今西コレクション 肉筆浮世絵名品展」(6月10日まで)
	6月23日	「スズキコージ 大千世界宇宙大爆裂展」(8月26日まで)
	8月31日	「金ーKINー」(10月8日まで)
平成31年 (2019)	10月13日	生誕120年「児玉希望展」(11月25日まで)
	12月13日	「追悼ー小林恒岳展」(平成31年2月11日まで)
	2月23日	「再興第103回院展 茨城五浦展」(3月24日まで)
令和元年 (2019)	4月20日	「画業50年記念 倉島重友展」(6月2日まで)
	6月7日	「近代陶芸の巨匠 板谷波山展」(7月15日まで)
	7月20日	「入江明日香ー心より心に伝ふる花なればー」(9月1日まで)
令和2年 (2020)	9月2日	空調設備改修のため企画展中止(令和3年4月23日まで)
	11月1日	体験プログラム「日本画ってなあに？ーみて・さわって・かいてみようー」(令和2年3月31日まで)
	4月11日	体験プログラム「日本画ってなあに？ーみて・さわって・かいてみようー」(令和2年7月31日まで)
令和3年 (2021)	8月1日	空調設備改修のため休館(令和3年4月23日まで)
	4月24日	「現代院展のあゆみ 天心記念茨城賞受賞作品を中心に」(6月6日まで)
	6月12日	「筑波大学 日本画40年の軌跡」(7月18日まで) ※7月19日～7月23日は、照明設備改修のため臨時休館
	7月28日	「ひろがる墨ー五彩に出会う」(9月26日まで) ※8月18日～9月19日は、茨城県非常事態宣言により臨時休館
	10月3日	「美ー響くーコレクション名品選」(11月23日まで)
令和4年 (2022)	12月4日	「いにしえを描く」(令和4年2月6日まで)
	2月11日	「おいでよ！花鳥画の世界」(4月17日まで) ※2月11日～3月31日は、照明設備改修のため岡倉天心記念室及び展示室Aは閉鎖

- 4月27日 「開館25周年記念展Ⅰ 箱根・芦ノ湖 成川美術館コレクション展～花愛でるところ、恋の詩とともに～」(6月26日まで)
- 7月9日 「開館25周年記念展Ⅱ 並河靖之の雅な技 世界を魅了した明治の京都七宝」(9月25日まで)
- 10月8日 「開館25周年記念展Ⅲ 再興院展の立役者 齋藤隆三」(11月27日まで)
- 12月10日 「のぞいてみよう!! 東京美術学校課題画展」(令和5年2月5日まで)
- 令和5年 2月10日 「旅するチバラキ ～連作《水郷めぐり》の全貌～」(4月23日まで)
- (2023) 4月29日 「椿×名品展 ふたたび、五浦へ」(6月11日まで)
- 6月23日 「再興第107回院展 茨城五浦展」(7月17日まで)
- 7月22日 「岡倉天心『東洋の理想』から120年 天心と画家たちのアジア」(9月3日まで)
- 9月13日 「間島秀徳展 天地無常 The Kinesis Always Reveals New Panoramas ―そこに新たな風景が」(11月26日まで)
- 12月9日 「天心が託した国宝の未来 ―新納忠之介、仏像修理への道」(2月12日まで)
- 令和6年 2月17日 「水底に群れ、水面に集う」(4月14日まで)
- (2024)